

第112回経営協議会議事録

日 時 令和2年2月19日（水）10時00分～11時15分

場 所 特別会議室

出席者 (学外委員)

荒井委員、岩波委員、白井委員、高村委員、長友委員、野々村委員、森口委員

(学内委員)

福田学長、中野理事、田中理事、植村理事、箱田理事、田野研究科長、新学域長

(オブザーバー)

由良副学長、阿部副学長、渡邊副学長、椿副学長、松山監事、名取監事、

酒井内部監査室長

第111回経営協議会議事録報告承認

議 題

□審議事項

1. 令和2年度予算編成方針について (資料①)
2. 大学等における修学の支援に関する法律の施行に伴う本学授業料等免除規程等の改正等について (資料②-1～4)

□報告事項

1. 令和2年度政府予算案の本学への内示について (資料③-1～4)

議 題

審議事項1 令和2年度予算編成方針について

箱田理事から、令和2年度予算編成方針に関する改正案について説明があり、これを了承した。

出された意見は次のとおり。

(学外委員) 運営費交付金について国大協や財務省等で議論されたものはどのように反映されているのか。また、間接経費の収入について、社会との関係を深め、産学連携を増やして、新しい時代をリードしていけるような予算を増やしていけないのか。

(学内委員) 相対評価で大学間での競争させる枠組みを増やし、その代わりにKPIのように各大学の特質を発揮したような研究活動や教育活動に対する評価が減っていくことが予測される。しかし、先生方の行動をこれらの評価の方針に拘束せず、学問ベースでの行動を重要視したいと考えている。

(学外委員) 常勤職員当たり民間との受託・共同研究受入額の指標による再配分率が低いのは、再配分率の高い大学と比べ、違う点があるのか。

(学内委員) 本学において、外部との繋がりが大きい研究分野は情報系になるが、金額的に規模が少し小さいのが一つある。

また、政府系の受託研究については、本学はある程度上質的なアピランスを持ち、先生の主力が向いているが、それを外して、民間との共同研究に注力してもらうという訳にはいかない状況にある。

(学外委員) 寄附金の獲得についてはどうなっているのか。

(学内委員) 本年度ネーミングライツ制度を立ち上げ、既に大卒での契約が決まっており、寄附金が実質的な基盤経費として機能するような体制を整えたい。

審議事項 2 大学等における修学の支援に関する法律の施行に伴う本学授業料等免除規程等の改正等について

箱田理事から、大学等における修学の支援に関する法律の施行に伴い、令和2年度以降の本学における授業料免除制度を見直したい旨説明があり、関連規程の制定及び一部改正について了承した。

報告事項 1 令和2年度政府予算案の本学への内示について

箱田理事から、令和2年度政府予算案の本学への内示について報告があった。

(閉会 11時15分)

[配付資料]

- ①. 令和2年度予算編成方針(案)
- ②-1. 大学等における修学の支援に関する法律の施行に伴う本学授業料等免除規程等の改正等について
- ②-2. 令和2年度以降の本学における授業料免除制度について
- ②-3. 電気通信大学入学料、授業料、寄宿料免除及び徴収猶予規程の一部改正(案)
- ②-4. 令和2年改正電気通信大学入学料、授業料、寄宿料免除及び徴収猶予規程附則第2項に基づく経過措置に関する要項の制定(案)
- ③-1. 令和2年度国立大学法人運営費交付金の重点支援に係る評価結果について
- ③-2. 令和2年度国立大学法人運営費交付金予定額一覧
- ③-3. 今後を見据えた財務基盤の強化について
- ③-4. 令和2年度当初予算(案)における国立大学法人等施設整備予算について